

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (2)健康づくり・地域医療の充実

(評価担当者)

健康福祉部長

井分 信次

■基本施策が目指す姿

市民一人ひとりが、地域において、生き生きと健康に暮らしています。

■関連する分野別計画

亀山市健康・医療推進計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	がん検診の受診率(肺がん)	%	33.2	H27	32.4					35.0
2	がん検診の受診率(胃がん)	%	21.8	H27	22.0					25.0
3	がん検診の受診率(大腸がん)	%	32.9	H27	30.2					35.0
4	医業収支比率	%	77.6	H27	82.4					99.8
5	救急搬送の市内医療機関受入率	%	50.2	H27	47.3					50.0以上
6	国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率(対前年度)	%	4.1	H27	2.6					4.0以下

■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.30			
	満足度	0.46			
2 医療機関が充実している	重要度	1.53			
	満足度	▲ 0.27			
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	がん検診、特定健診、特定保健指導、歯周病検診、救急搬送の市内医療機関受入率の実績値は、横這いもしくは減少傾向であった。一方、医療センターは経営改善が進み、医業収支比率が向上した。亀山市健康・医療推進計画の5年計画の初年度で、一般的に取り組みの効果が指標へ反映されにくい時期ではあるが、幅広い年代層に多種多様な取り組みを展開できたことから総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
「健都さぷり」プロジェクトにより関係部署が連携し、市民や地域の主体的な健康づくり活動を支えられる環境整備として、食育、健康、医療の各分野における行政の基本施策と民間のサービスや地域の取り組みを合わせて総合的に実施・展開できるようにするとともに、幼年期から高年期までのライフステージを通して健康・医療の支援をシームレスに(切れ目なく)提供できるようにし、目標値に近づけるよう引き続き取り組んでいく必要がある。	

今後の展開方針

「健都さぷり」プロジェクトでは、市内事業所のトップランナーとなるよう公共施設の敷地内全面禁煙を進めるとともに、行政の基本的な健康づくり施策などを集約し市民に周知しながら自主的に実践していただけるよう、市独自の健康マイレージ制度を構築するなど、地域包括ケアシステムによる地域づくりと調和する健康都市「かめやま」の実現に向け、引き続き取り組みの充実・強化を進めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 健康な暮らしの支援						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	健康づくり応援隊の支援、スポーツ・運動の推進、トレーニングやウォーキングの広報での推奨、医療カフェの開催、介護予防活動など保健分野と関係する部門においてそれぞれが地域や個人での健康づくり活動を支援した。	評価	健康づくりやスポーツ、介護予防などの普及啓発を各部門がそれぞれ実施し、市民が自分自身で、地域で行う主体的な健康づくり活動を推進することができた。また、「健都さぶり」プロジェクトによる連携により情報共有し、今後、各部門が一体的に協力して進めるべき取り組みを検討することができた。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	3174	高齢者人間ドック・脳ドック事業	標	2,332 / 1,846	A	B
	4002-1	一般事業(保健衛生事業)	標	978 / 811	A	B
	4072	健康増進事業	標	13,134 / 10,117	A	B
	4005	健康づくり事業	標	2,175 / 1,314	B	B
4008	予防衛生事業	標	154,356 / 138,270	A	A	
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 疾病予防と早期発見・治療の推進						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	がん検診の無料券配布、特定保健指導プログラムの見直し、30歳以上の歯周病検診を5歳刻みにするなど受診率向上に繋がる取り組みを進めた。感染症の予防として、麻しん・風しんの予防接種をはじめ、関係機関と連携し定期予防接種の受診勧奨を行った。	評価	がん検診、特定健診、特定保健指導、歯周病検診の実績値は、受入体制の都合上横這い若しくは減少傾向であるが、歯周病検診は5歳刻みとしたことで、受診者が倍増した。今後も医師会等の提言において効果的かつ実施可能なものがあれば進めていきたい。感染症の予防として、麻しん・風しんの予防接種をはじめ、引き続き高い接種率を維持している。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17041	特定健康診査・特定保健指導事業	主	28,691 / 24,422	A	C
	17042	がん検診推進事業	主	99,634 / 91,462	A	B
	17043	予防接種費用助成事業	主	7,270 / 7,270	A	B
	4076	特定健康診査事業	標	42,233 / 32,995	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 地域医療提供体制の整備						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	地域医療学講座継続による医師の確保、多職種連携のためのICTシステム導入、医療センターの院外薬局開設によるジェネリック使用率の向上、指導救命士の養成、救急ワークステーションの運用効率化などの地域医療提供体制の整備推進を図った。	評価	三重大学亀山地域医療学講座の継続設置、在宅医療の推進、休日・夜間、年末年始応急診療体制の維持継続、指導救命士の養成、救急ワークステーションの運用効率化などの救急医療対策など順調に推進できている。		
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17044	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	主	31,200 / 31,200	A	A
	17045	地域医療連携システム導入事業	主	19,500 / 17,186	A	A
	4006	救急医療対策費	標	14,212 / 12,292	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 医療センターの機能強化と経営健全化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	開院から30年近く経過し老朽化した設備が増えてきた中で、施設の長寿命化及び安定した良質な医療の提供を図るため、受変電設備等の主要設備の改修を行った。		評価	引き続き、老朽化した設備を順次改修して、施設の長寿命化及び医療センターの機能強化を計画的に図っていく必要がある。また、地域包括ケア病床の設置により、医療収益の増益に結び付いたため医療収支比率等が改善されたとともに、在宅医療の推進を図ることができた。		
		また、地域包括ケア病床を設置し、本市における地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、病床稼働率の向上等による医療収益の増益を図った。					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17046	医療センター設備改修事業		主	76,963 / 76,651	A	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向⑤ 安心できる公的医療保険制度の運営							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	国民健康保険事業について、特定健康診査・特定保健指導や脳ドック、1日人間ドック等の保健事業を実施することにより、医療費適正化に取り組むとともに、国民健康保険税の収納率向上に取り組んだ。また、後期高齢者医療事業について、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の賦課及び徴収事務などの市の事業を適切に実施した。		評価	医療費適正化に取り組んだ結果、国民健康保険被保険者1人当たりの医療費の増加率(対前年度)は2.6%で、4.0%以下に抑えることができた。また、国民健康保険税の現年分収納率は93.96%で目標収納率を達成するとともに、後期高齢者医療保険料の現年収納率は99.42%で、公的医療保険制度の健全な運営につながった。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果